

奥多摩の自然



奥多摩

《第64号》

令和4年(2022)1月15日

(一社)奥多摩観光協会



雄大な自然を有する奥多摩町 上：イモノキドックから都県境長沢背稜、中央：雲取山から石尾根、下：奥多摩湖

平将門と奥多摩

「おくたま」という名称は観光地として良く知られ、御嶽山や秋川溪谷、高尾山等も包括してとらえている人も多い。町の中心を多摩川が西から東へと貫流している。平坦地は少なく、V字型の谷と見上げるような急斜面のわずかな平坦地に集落が散在している。

このような地勢から生活基盤の整備には困難をきたしているが、反面、山村の文化の伝承と生活様式が今でも保存され、郷土芸能の宝庫といわれている。

海沢の下野原遺跡などによって、今から5千年以上前の縄文時代すでに人々が生活を営んでいたことがわかっているが、山深い地形であることから、中世、戦国時代は敗軍の武将の隠れ里となっていたようである。

将門に関して神社、塚、柵等は、奥多摩の人々の生活に密着し、長い間大事に温められてきた。関東西縁の山地には「平将門」に関する多くの話が語りつがれ、その故地といわれる所が存在している。どの道をたどって将門の話が伝えられ現在に残されるようになったのであろうか。

関東の平野部が中心舞台であった天慶の乱は秀郷・貞盛軍によって将門軍は討たれて終わっているが、文献によって奥多摩を含め関東西縁の山地と関連づくのではないかと考えられるものがある。たとえば地名は出ていないが「将門記」には「賊首将門の舎弟七・八人、或は髯削り除きて深山に入り、或いは妻子を損捨て各々山野に迷い、猶遺るものに於いては恐れをなして去る」、「今昔物語」では、「将門が舎弟七、八人或は髯削り除きて深山に入り、或いは妻子を損捨て山野に迷う」、「延慶本平家物語」は「此外の舎弟以下伴類等は命の捨てかたきには深山に逃籠り、妻子を捨て山野に迷輩数を知らず」とある。

棚沢には平将門を祀った将門神社がありますので、みなさん是非参拝してみたいはいかがでしょうか。

奥多摩郷土研究会会長 村木 征一

奥多摩山歩きワンポイントアドバイス

～ 寅年の計画 ～

2年間続くコロナ禍の渦中ではありますが、静かな新年をお迎えのことと慶賀に存じます。

奥多摩の山々も寅年を迎えどっしりとした中にも紺碧の空を背景に、凜とした美しさで皆様の来訪を待っているかのようです。

今号では、新年の計画立案のヒントとそれに挑戦する心構えに焦点を当ててみたいと存じます。

I. 新年の計画

① 運試しに「開運山」

河口湖の北東に位置する三ッ峠山(1785.2m)として良く知られた山で、別名は開運山とも呼ばれています。富士山の展望に優れ年末から年始には特に登山者に人気です。運勢を占ってみましょう。

② 寅年にちなんだ「虎巳山」又は「寅巳山」

寅又は虎にちなんだ山は全国に19山程挙げられていますが、そのほとんどが関西方面の山です。関東以北には青森・秋田・宮城・栃木の各県に一つずつで、この「寅巳山(虎巳山)」(445.8m)は日光宇都宮有料道路の北側、宇都宮市に位置しています。

「寅年生まれの人性格について、その特徴は時機が来ればいつでも行動に移し、自分の理想を実現する。物事に取り組むときは周囲の状況を分析し、しっかりと計画を立てて行動する」と云われています。

これを機会に、干支にちなんだ山に挑戦してみるのも良いでしょう。

③ ハイキング「奥多摩6選」

お薦めハイキングスポットとして御岳山・高水山・三頭山・川苔山・浅間嶺・御前山を取り挙げ、それぞれの代表的コースと見どころを紹介しています。

奥多摩では沢山の名山があり、どの山を選ぶかについて迷ったら、手始めにこれらの山から挑戦してみるのも良いでしょう。

④ 大多摩観光連盟「名山30座」

大多摩観光連盟が奥多摩町を始め丹波山村・小菅村・檜原村・日の出町・あきる野市のそれぞれについて代表的な山を選定し、合計30の山からなる大多摩30座を制覇するプロジェクトで始めたものです。

⑤ 日本山岳会東京多摩支部「多摩百山」

日本山岳会東京多摩支部の記念事業として、延べ150人の支部会員が歩いて実地調査を行い、百山を45のコースで登るガイドにまとめたものです。

友の会会員諸氏の中で、互いに気力体力の知れた仲間と挑戦してみるのも良いでしょう。

II. コロナ禍の事故と遭難

事例1. 「高尾山」で骨折

昨年1月21日(快晴)高尾山から小仏峠に向かう下りの登山道で、濡れた土の上に枯れ葉が積もった場所で転倒、68歳女性が手首をついて左手首及び左手小指骨折。

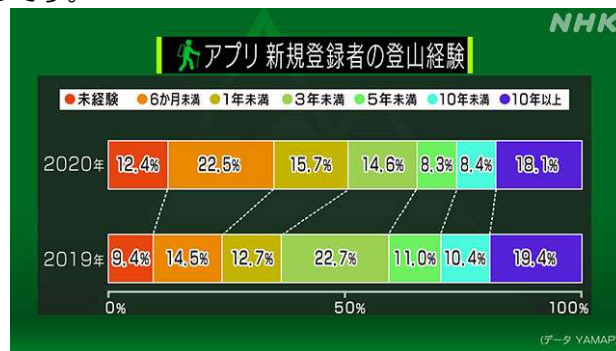
ザックなど負荷を外し、下山して通院。

事例2. 「鋸山」で滑落

一昨年6月16日(晴後曇)大岳山から奥多摩駅に向かう途中、疲労と日没が重なり鋸山天聖神社付近で64歳男性が誤って滑落。山岳救助隊により救助され、救急車で医療機関に搬送、重症。

III. コロナ禍の前後における登山者の傾向

次のグラフは、NHKがYAMAPのビッグデータをもとにコロナ禍での登山者の動きを分析したものです。



(NHK NEWSWEBより)

このグラフによると、登山経験1年未満の割合が新型コロナウイルス感染予防に伴う緊急事態宣言発令前の36.6%から50.6%に増えています。

また、別の調査では近場で低い山に登る人の割合も増えています。

一方、感染症予防の観点から巣ごもり生活が長引き自身の体力はそれ以前に比べ、大幅に落ちていることも自覚しなければなりません。

IV. 徐行運転からレベルアップへ

上の事例1では一年近く続いた自粛や巣ごもりでいわゆる勘が鈍っていたのではないのでしょうか。また事例2では歩き通せる筈のロングコースも、しばらく休んでいるうちに、いつの間にか持久力が落ちていたことに気付かなかった結果だと思われます。

登山は息の長いスポーツです。日頃から身近な目標を定めてトレーニングを重ね、少しずつでも徐行運転を試みましょう。

春の登山シーズンまでの巣ごもりは、その後の気力体力の回復に大きく影響してきます。澄んだ空気を求めて今年も一歩踏み出しましょう。

ガイド 富士 光男

No.25 「御前山」 山頂は秋真っ盛り
 黄金色のヒトツバカエデに迎えられて

行って来たあよ～

No.26 山里歩き・その8 「川野」

		コースタイム
8:23	開会・バス発	
8:43	「湖底の故郷」	12:01 御前山山頂(昼食)
8:55	登山口	12:33 御前山山頂
9:23	741m 休	13:09 カラマツ広場 休
10:01	ササヅワ山 休	13:52 トチノキ広場 休
11:01	頂上下平坦地	14:09 栃寄森の家
11:34	惣岳山	15:11 境橋手前
		15:10 閉会

10月28日(木)は絶好の登山日和。これは増澤リーダーと班長のお陰、いえ皆さんのお陰、いえいえ「天のお陰」によるものでしょう。

御前山応募者は27人、最終的に7人のキャンセルが出て、参加者は20人となりました。

空は晴れ渡り、御前山のオオブナ尾根に爽やかな冷気が時々吹き渡ります。

上のコースタイムを御覧ください。登山口から御前山の山頂まで、ガイドを含めた25人が標高差約900mを3時間で登ったこととなります。

下見の21日、ササヅワ山からの休憩をどの地点で取るべきか悩みました。最初は人工林帯、続いて大ブナの天然落葉樹林、石灰岩の露出と変化に富んでいます。更に私たちが大すきな!?急登が3カ所も行く手に。惣岳山山頂直下まで頑張り通して50分、遂に平坦地に到着。特異な実を付けたキハダが私たちを迎えてくれました。

絶景ポイントは、ササヅワ山と御前山の両山頂。ササヅワ山からは、眼下に1957年に竣工の小河内ダム。多摩川本流を追うと鶏のトサカのような武田の軍資金を産出した黒川鶏冠山。南に目を転ずると最も高い大菩薩嶺、続く大菩薩旧峠そして介山荘のある現在の大菩薩峠。御前山山頂では、近年皆伐された山頂部から奥多摩の2大主稜線、石尾根と都県境尾根の長沢背稜が望めます。西から飛竜山、東京都最高峰雲取山、続く第2位の高峰イモノキドッケ、優美な三角形をつくる酉谷山等。

下りはカラマツ広場、トチノキ広場で休憩。「栃寄森の家」を過ぎ、石垣に残る「ジンジソウ」を愛でながら無事下山完了。 ガイド 増澤 強

周囲の緑の中に鮮やかな赤い色がどの季節に來てもひときわ印象的な峰谷橋を渡り、その先で私にとっては初めての麦山浮橋を渡ることからこの日の散策は始まりました。

まずまずの天気で怖いほど揺れるということもなく、しかしちょっと不安定な足元が結構楽しい。普段は山の上から見ている奥多摩湖と湖面すれすれから見上げる奥多摩の山々の景色もどちらも大らかで美しく目に残ります。無事に渡った浮橋の後、始まったばかりの紅葉の木々の間に良く整備されたネイチャートレイルをゆっくりと「山のふるさと村」まで散策。昼食後にここもまた自然林の緑が美しい「やまふる」周辺を更に散策。静かな山中には透き通るような景色と空気が流れていました。

ところで、この二年程のコロナ禍で都民は遠方に出かけられず、ちょっとお出かけ先として色々なメディアでよく奥多摩が紹介されているようです。奥多摩を紹介しながら誰もがほぼ例外なく「(奥多摩が)東京とは思えない!!!」「これでも東京なんです!!!」と叫ぶ。私は奥多摩人ではありませんが、このような反応に毎回少々物申したい思いになります。

人々は高層ビルが建ち並び、騒音の中で人が行きかいたが肩が触れ合うような街だけが東京だと思っているのでしょうか。きれいな森や水の自然豊かな東京の西部、奥多摩こそいつまでも続けて欲しい大切な本当の東京だと私は思っています。

その奥多摩の散策イベントに毎回参加させていただいております。何よりももちろん、イベントをいつも安全で快適に案内して下さるスタッフ・ガイドの皆様毎に毎回心から感謝している私です。これからのイベントも楽しみにしています。

会員 宮崎 晴美

ササヅワ山から川野方面



奥多摩樹木雑話

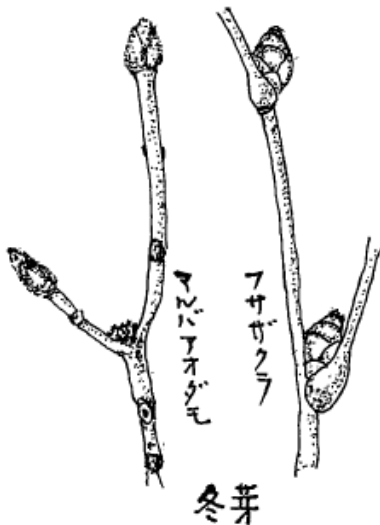
～湖畔の岬にて～

小河内神社が鎮座する岬、そこにたくさん生えているアカマツを見に出かけました。車を下りたあと、くすんだ色を広げて静まりかえる森に沿って、ゆっくりと歩きました。今にもふれ落ちんばかりの葉をつけた小枝のつけ根には、冬芽が息をこらして春の陽光を待ち望んでいました。一株のアカマツの稚樹が、エネルギーを上にも伸びるより枝を横に広げることに使っているのか、ずんぐりとした姿で生えていました。鮮やかに紅葉したシラキに目を奪われる先に、何本かのアカマツが、赤褐色の肌を見せていました。近づいて見ると、アカマツの大木はいずれもが急斜面にしっかりと根を張っています。そのまわりは、植栽されたスギ、ヒノキ以外の樹種はほとんど見当たりません。まさにアカマツの純林に近い景状でした。

湖面からの冷たい風に身をまかせながら、これらのアカマツの生い立ちを考えてみました。火入れかその他何かの理由でできたやせた草地上に飛んできたアカマツの種子は、養分の乏しいやせた地表のおかげで地表の中のカビにやられて枯死してしまうことなく生長できたのでしょうか。

あらためてアカマツの大木を見上げると、お互い競い合うことでまっすぐに伸びた幹の樹冠近くは、老齢化で枝が横にはびこっているものが目立ちます。中には枯れた枝に、びっしりと沢山のまつかさ（球果）をつけたものもあります。残された命が短いことを感じ、次世代に種を引き継ぐはたらきなんでしょう。活動に好条件な時が来るのを静かに待つ、己れに残されたエネルギーを怠りなく次世代に引き継ぐ。針葉を繁らせて傲然とたたずむ数本のツガの大木と合わせて、自然がもつ実に確かな生のすがたを感じたひと時でした。

橋上 一彦（元観光ガイド）



奥多摩の野鳥

～ カヤクグリ ～

く 日本固有種 〉 漂鳥
カヤクグリ： スズメ目 イワヒバリ科、
カヤクグリ属

やぶに潜むなかなか姿を現さない鳥で亜高山帯から高山帯のハイマツ林で繁殖し冬季は低山から薄暗いやぶ地などに生息しています。数羽の小群で生活する事が多く、1羽を見つければ数羽が同時に飛び立つ事があり、おどろかされます。繁殖期には主に昆虫類を捕食し、越冬期は植物の種子などを食べています。

名前は、冬季はやぶで潜むように生活することに由来しています。

雌雄同色で、頭部は褐色で目の周囲に細かい白斑があるのが特徴です。また、体の上面は少し赤みのある褐色で黒い斑紋があります。胸から体下面は灰色で、下腹に茶色の縦斑があります



が、多少個体差があります。

くちばしは黒くとがっています。なかなか姿を見る事はむづかしいのでさえずりをよく聴いて下さい。例えばハイマツの上に止まって「チリリリ」「ヒリリリリ～」という声で連続してよく鳴きます。冬季はやぶに潜んでいる事が多いので姿を確認する事がむづかしいですが1羽が鳴くと沢山のカヤクグリが鳴き出しますので案外みつかるとも知れません。

冬の奥多摩では、奥多摩湖の浮き橋をわたって山のふるさと村への散策ルートでよく声を聞く事があります。

ガイド 畑 幸夫

とっておきの山里歩きガイド

境集落を歩く

奥多摩むかし道の間接点にある境集落は、自然景観と寺社にまつわる文化財が豊富なハイライトゾーンです。

白髭の大岩



大岩の元で行われる獅子舞

大岩は、東京都の天然記念物に指定されている石灰岩の逆断層です。2億5千万年前に思いを馳せる神宿るにふさわしい白髭神社で毎年8月16日に獅子舞が行なわれます。

やや下手の集落の中央、日露戦役碑がある裏山にも小規模ながら石灰岩の岩場があります。熊野神社や山の神のほか、かつて祥安寺にあった石造物などが安置されていて5分ほどの急登ですが、一見の価値はあります。

白髭神社の狛犬

悲惨な結果に終わった第二次世界大戦。終戦後ソ連兵から逃れ中国大陸を経て朝鮮半島を南下し、決死の逃避行の末、生還した人がいます。いつも「白髭様



よう、俺に弾を当てないでくれ」と境出身の坂本さんは、故郷の白髭様に頼んでいたそうです。その甲斐あって、日本の土を踏むことが出来たと聞きました。坂本さんの父親が白髭神社へ感謝を込めて狛犬を奉納しました。依頼された地元の石屋さんは「墓石が専門で狛犬は造ったことはねえ」といいつつも仕事を引き受

けてくれた。坂本さんに言わせると「ぶっちゃけたような顔」と。それでも、今見ると、狛犬造り初挑戦とは思えないほどの出来栄です。

ところで、狛犬奉納には、こんな話があります。日清・日露戦争は、勝ち戦。しかし、先の大戦は、敗戦でしかも生きて帰った人に対しては、人々の目は冷たかったという。いざ、奉納のとき、鳥居の内側には建てさせないとか、台座を低くしろなどと神社総代の意見が分かれたとのことで、来訪の折には、とくと実物をご覧ください。

境の清泉と祥安寺わさび



今も続くわさび栽培

奥多摩自然文化百選にも選ばれるほどの名水と江戸まで知られた名産の祥安寺わさび。

汲み尽きることのない清泉は、知る人ぞ知る奥多摩随一を誇る名水と言われています。ここには、かつて祥安寺があり、昭和37年まで境分校がありました。

たけぞう地獄と先生地獄

右の明治27年銘の道祖神は、たけぞうさんの供養と道の安全を祈願したものです。先生地獄の場所は不詳ですが、祥安寺墓地に子供を荷馬から守ろうとして殉職した中原先生の供養碑があります。



なお、コース途上で見掛ける馬頭観音の多くは、命を落とした愛馬の供養碑です。この地域では、馬も家族同様に大切にされていました。

境集落を歩くといろいろな発見があります。自然も文化財も人々の暮らしにも。ご自分の足で体験してみてください。 ガイド 岡崎 学

「名人・達人観光ガイドの会」ガイド紹介

- ① 氏名 ② 現役時代の仕事または今現在の仕事 ③ 出身地
 ④ 現住所 ⑤ 趣味、特技 ⑥ ガイドになったきっかけは？
 ⑦ 今までガイドをしていて良かったと思ったこと、嬉しかったこと ⑧ ガイドしている時、いつも心がけていること

- ① **東 信男** ② 会社員 ③ 東京都世田谷区
 ④ 東京都多摩市 ⑤ ソフトボール 20年程
 やってました ⑥ 奥多摩に通う楽しさを感じたから
 ⑦ 気配りをしながら歩く事で充実感を得たこと
 ⑧ 受け持ちお客様の体力、体調に合わせたペースを維持する事
- ① **安久 正敏** ② 現職業：1級建築士 ③ 広島県
 呉市生まれ、大阪府育ち ④ 東京都小金井市
 ⑤ ハイキング、ピクニック、お酒（好き嫌いはありません）
 ⑥ 奥多摩に興味があり講習会に参加したらガイドになってしまいました
 ⑦ 色々なお客様と交流できること
 ⑧ 安全第一です

奥多摩町のSDGsを考える

今、奥多摩町ではごみの投棄が問題になっています。多くの方々はマナーを守り、ごみを持ち帰っていただいておりますが、残念なことに、川原や駅のトイレにゴミを放置していく人たちもいます。長く自然を利用して、水源である安全な水を守るため、多くの方々に楽しんでもらうためにマナーを守って利用してください。奥多摩町では観光協会と連携し、「観光客専用ゴミ袋」を販売しています。そしてそのゴミ袋に入ったゴミは指定した回収場所にて係員が回収します。

ゴミ袋販売所 奥多摩町観光案内所 ゴミ袋の金額
 500円 可燃、不燃、資源（ペットボトル、缶、ビン）用各1枚1組 回収場所は奥多摩町観光案内所



冬から春 奥多摩山歩き イベント案内

令和4年1月 から 3月 まで

No. 33 3月14日(月) 川井から御岳旧道歩き
 旧青梅街道を川井から沢井まで歩きます

No. 34 3月30日(水) 早春の奥多摩むかし道
 奥多摩湖～浅間神社～白髭神社～奥多摩駅まで
 早春の奥多摩むかし道で木々や野草の春を探します
 詳しくは奥多摩町観光案内所にご確認ください。



白丸魚道の隣に「エコっと白丸」がOPEN
 再生可能エネルギー・水力発電のPR・ダムカードの配布など。地元小学生のネーミングです。
 大迫力のジオラマシアターと6つのテーマの壁面展示です。

- ① 白丸ダムの役割
 - ② 使うなら、つくろう！
 - ③ 奥多摩散策 MAP
 - ④ 変動対策のカギを握る「再生可能エネルギー」
 - ⑤ 再生可能エネルギーの発電のしくみ
- 小河内ダム建設時の貴重なビデオもあります。



奥多摩観光協会

観光案内所のホームページへ右のQRコードからアクセスできます。



奥多摩町の観光情報、友の会の情報、「来させえ」のカラー版も見ることができます。

ガイド 小峰一郎

次号発行予定：令和4年4月15日

発行 一般社団法人 奥多摩観光協会
 住所 〒198-0212 奥多摩町氷川210
 電話 0428-83-2152 FAX 0428-83-2789
 編集 名人・達人観光ガイドの会